

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係 農林振興課		普及支援係
事務事業名	担い手等育成支援事業		事業予算費目（一般会計）		
総合計画 の位置づけ	大綱	I 活力ある産業を育て雇用をつくるまち	款	06	農林水産業費
	施策大綱	I-2 農林業の振興	項	01	農業費
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	03	農業振興費
	主要施策	I-2-1 儲かる農業の推進	事業	368	担い手等育成支援事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	農地の保全による環境維持と生産活動を持続的に進めていくため、認定農業者や新規就農者、広域連携組織など今後の農業の担い手と成りうる経営体に対して支援を行い育成を図る。また、市の振興作物である3果樹（大粒ぶどう・赤梨・西条柿）や有機農産物、推進品目（組み合わせ作物）の生産者を支援し、産地振興を図る。	事業の内容	(1)担い手育成支援事業補助金 ・補助対象者：認定新規就農者、認定農業者、広域連携組織等 ・補助率：認定新規就農者：1/2、その他1/3他 ・補助上限額：200万円（ハウス整備を除く） (2)産地振興事業補助金 ・補助対象者：3果樹、有機農産物、組み合わせ作物の生産者 ・補助率：1/2 ・補助上限額：最大200万円
市民ニーズの把握状況	予算要求時に認定農業者等の事業対象者に要望調査を行う他、JAの部会を通じて要望の取りまとめを行っている。また、広報はまだやTEGOネットだより（機関誌）、各支所担当課を通じて情報提供を行っている。	市民参加・協働の有無 その内容	事業対象となる市内生産者に要望調査を実施。

■事務事業の業績・推移（D0）

目標と実績	設定した目標				目標/実績	目標/実績	目標	目標	
					R5	R6	R7	R8	
	(1)振興作物農業産出額の増加(3果樹)：(R8)850,000千円(累計) (2)認定新規就農者の新規認定数の増加：(R8)5経営体(累計) (3)認定農業者の新規認定数の増加：(R8)5経営体(累計)			目標	(1)340,000千円 (2)2経営体 (3)2経営体	(1)510,000千円 (2)3経営体 (3)3経営体	(1)680,000千円 (2)4経営体 (3)4経営体	(1)850,000千円 (2)5経営体 (3)5経営体	
	設定した理由・背景								
	振興作物の産出額を増加させ、産地の維持発展につなげる。また、認定新規就農者や認定農業者を増やし、地域農業の核となる生産者を確保する。			実績	(1)367,289千円 (2)3経営体 (3)5経営体	(1)583,760千円 (2)3経営体 (3)8経営体			
				R5年度決算	R6年度最終予算	R7年度予算	市民1人当たりのコスト		
事業費	総事業費			21,939,000	27,553,000	32,000,000	R5	438	
	財源内訳	国県支出金						R6	561
		地方債						各年度4月1日時点の人口	
		利用者負担・その他			21,939,000	27,553,000	32,000,000	R5	50,129
		一般財源						R6	49,096

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	事業要望数については年度ごとに変動するが、生産者の要望に応じて事業実施できている。 近年は、高齢化等を理由に農家数が減少する一方で、認定農業者等の中心経営体への農地集積も進んでおり、農業機械の大型化の需要も高まっている。 本事業により、物価高騰が続く中新たな投資に取り組む生産者の負担軽減が図られたことにより、農業振興及び農地維持に効果があったと考える。
--------------------	---

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	「担い手育成支援事業補助金」と「産地振興事業補助金」を事業の目的で整理を行い、担い手育成を目的とした「担い手育成支援事業補助金」と「中核的経営体等育成支援事業」を統合し「中核的経営体支援事業」に、また、産地振興を目的とした「産地振興事業補助金」に「有機JAS認証拡大支援事業」を加え「産地振興事業」とし、より生産者に分かりやすい事業に改めた。
---------------------------	---